

難治疾患研究所研究発表会プログラム

平成22年2月23日（火） 難治疾患研究所駿河台地区
1 階会議室

（1）第1部：若手・大学院生研究発表会

大学院生 座長：佐藤 憲子

1. 9:00 志知 大輔 Daisuke Shichi（分子病態 D4）
演題：多型マイクロサテライトC1_2_5は、HLA-B/-Cwハプロタイプ識別の有用なマーカーとなる

2. 9:20 鶴田智彦 Tomohiko Tsuruta（分子細胞遺伝 D3）
演題：DNAメチル化異常により発現抑制される子宮体癌関連癌抑制遺伝子型microRNAの機能的スクリーニング

3. 9:40 松村 聡 Satoshi Matsumura（分子細胞遺伝 D3）
演題：肝細胞癌においてDNA過剰メチル化で制御されているがん抑制遺伝子の統合的アレイ解析

4. 10:00 伊東義真 Yoshimasa Ito（分子神経科学 D3）
演題：過剰なグルタミン酸シグナルは扁桃体の発達を障害する

5. 10:20 正木 久晴 Hisaharu Masaki（病態生化学 D3）
演題：マウスES細胞において、DPPA4はDNAとヒストンH3を介してクロマチン構造調節に関与している

休憩 10:40 - 10:50 座長：鹿川 哲史

*. 10:50 優秀論文賞：菅波 孝祥 Takayoshi Suganami（分子代謝医学）
論文名：Activating transcription factor 3 constitutes a negative feedback mechanism that attenuates saturated fatty acid/toll-like receptor 4 signaling and macrophage activation in obese adipose tissue

6. 11:10 岩船浩孝 Hirotaka lwafune（エピジェネティクス D3）
演題：ゲノムインプリンティングの分子機構の解析

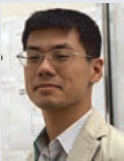
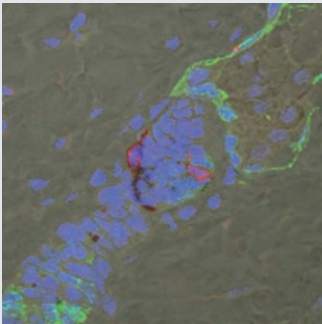
7. 11:30 阿部友美 Tomomi Abe（分子神経科学 D3）
演題：食餌予知行動発現におけるオレキシンの作用部位の解明

8. 11:50 大野 源太 Genta Ohno（形質発現 D2）
演題：RNA結合タンパク質ASD-2はアクチン細胞骨格形成に関わる線虫ADF/コフィリンの筋肉特異的な選択的スプライシングを制御する

9. 12:10 内田 好海 Yoshimi Uchida（発生再生生物学 M1）
演題：ストレス応答性キナーゼJNKによる時計蛋白質PER2の安定性制御

昼休み (12:30-13:20)

10. 13:20 宮村 憲央 Norio Miyamura（発生再生生物学 M2）
演題：概日リズムとDNA損傷応答を共通に制御するシグナル伝達経路の解明



若手研究者

11. 13:43 武内 章英 Akihide Takeuchi（形質発現制御学 助教）
演題：レポーターマウスを用いた、哺乳類スプライシング暗号解読への挑戦

12. 14:03 井上 純 Jun Inoue（分子細胞遺伝 助教）
演題：LAPTM5蓄積による細胞死誘導と神経芽腫の自然退縮機構

13. 14:23 林 深 Shin Hayashi（分子細胞遺伝 特任助教）
演題：小頭症と小脳脳幹部低形成を伴う精神発達遅滞の原因遺伝子CASKの解析

14. 14:43 満 栄勇 Rong-Yong Man（免疫学 特任助教）
演題：Augmented B Lymphocyte Response to Antigen in the Absence of Antigen-Induced B Lymphocyte Signaling in an IgG-Transgenic Mouse Line.

15. 15:03 小林 慎 Shin Kobayashi (MTT 特任講師)
演題：着床前の雌雄の分化とエピジェネティックな遺伝子制御

16. 15:23 亀井康富 Yasutomi Kamei（分子代謝医学 准教授）
演題：生活習慣病発症の易感受性におけるDNAメチル化の役割

休憩 15:43 - 15:53

座長：西村 栄美

（2）第2部：平成20年度「難治疾患の研究」を重点課題研究助成採択者講演

1. 15:53 成瀬美衣 Mie Naruse（エピジェネティクス 特任助教）
演題：レトロトランスポゾン由来の遺伝子を利用した哺乳類の胎生機構獲得の検証
2. 16:13 古田繭子 Mayuko Furuta（分子細胞遺伝 D1）
演題：新たなRNA創薬に寄与する肝細胞癌抑制性microRNAの機能的探索

（3）第3部：論文賞受賞者発表及び講演 座長：西村 栄美

1. 16:33 最優秀論文賞：西田 友哉 Yuya Nishida（病態細胞生物学）
論文名：Discovery of Atg5/Atg7-independent alternative macroautophagy

休憩 16:53- 17:00

2. 17:00 優秀論文賞：伊藤 日加瑠 Hikaru Ito（神経病理学）
論文名：Knock-down of PQBP1 impairs anxiety-related cognition in mouse

3. 17:20 優秀論文賞：有村 卓朗 Takuro Arimura（分子病態）
論文名：Cardiac Ankyrin Repeat Protein Gene(ANKRD1) Mutations in Hypertrophic Cardiomyopathy

4. 17:40 優秀論文賞：志浦 寛相 Hirosuke Shiura（エピジェネティクス）
論文名：Paternal deletion of Meg1/Grb 10 DMR causes maternalization of the Meg1/Grb10 cluster in mouse proximal Chromosome 11 leading to severe pre- and postnatal growth

（4）第4部：表彰式

18:00 北嶋 繁孝 所長 講評
論文賞および発表賞の発表と表彰

